

次期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方(案)【概要】

次期教育振興基本計画のコンセプト

- 多様な個人のウェルビーイングの実現と共生社会の実現・地域コミュニティの再構築に向けて、個人と社会のウェルビーイングの実現をつなぐ学校や社会教育施設の役割・機能を重視
- 少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出していく人材を育むことを重視
- 将来の社会基盤に変化をもたらすデジタルトランスフォーメーションを教育・学習全体の中に組み込む。

これらを通じた価値創造により、人間中心社会としての Society 5.0 の実現を目指す。

我が国の教育をめぐる現状と課題

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための社会や時代の変化への対応（流行）

教育振興基本計画は、予測困難な時代における我が国の教育の方向性を示す羅針盤となるもの

社会の現状や変化への対応

- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・国際情勢の不安定化
- ・社会のDXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・18歳成年・こども基本法
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・新型コロナウイルス感染症、学校の福祉的役割
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）

今後の教育政策に関する基本的な方針

① 日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びを日常の教育活動に取り入れることにより、一人一人のウェルビーイングを向上
- ・子供が抱える課題が多様化・複雑化する中で、個別最適な学びと協働的学びの一体的充実やマイノリティの子供の強みに着目するエンパワメントの視点により、多様性、公平・公正、包摂性ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・調和と協調ある日本型ウェルビーイングとして「主観的な幸福感」「開放的協調性と多様なつながり」「自己肯定感と自己実現」を重視
- ・教師のウェルビーイングの確保、社会教育を通じた地域コミュニティを基盤としたウェルビーイングの実現
- ・組織の境界を越えた学び合い、風通しの良い組織形成を重視し、同調圧力への偏りから脱却

② グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・気候変動などの地球環境問題や都市と地方の格差などの社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上に向けて、「人への投資」が必要
- ・グローバル化が進展する中で、持続可能な社会の創り手の育成に向けて、留学等の国際交流活動や大学等のグローバル化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・主体的社会参画意識の醸成や、デジタルやグリーン等の成長分野の人材育成に向けて、課題解決型学習やキャリア教育、探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・人生100年時代のマルチステージにおける、学校における学びの多様化やリカレント教育の推進

③ 地域や家庭で共に学び支えあう社会の実現に向けた教育の推進

- ・社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、高齢者を含むすべての人のウェルビーイングを向上。障害者の生涯学習機会の拡充に向けた取組推進

④ 教育デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- ・教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進
- ・各学校段階に応じ、情報活用能力の育成、校務DXを通じた教育データ利活用・働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、GIGAスクール構想、DX人材の育成等を更に推進
- ・デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

- ・経済的・地理的状况によらない学びの確保、指導体制・ICT環境等の整備、学校における働き方改革の更なる推進、NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保
- ・各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等